

令和 7 年

雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和 7 年 9 月 5 日～9 月 9 日】

令和 7 年雲南市議会 9 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ	
1	9/5(金) 9 時 30 分～	14/中林 孝	一問一答	1～2	11	9/9(火) 9 時 30 分～	10/多賀 法華	一問一答	21～24	
2		2/原 良太	一問一答	2～3	12		13/上代 和美	一問一答	24～27	
3	9/5(金) 13 時 00 分～	17/佐藤 隆司	一問一答	3～5	13	9/9(火) 13 時 00 分～	11/安田 栄太	一問一答	27～28	
4		6/廣野 祐二	一問一答	5～9	14		15/中村 辰真	一問一答	28～31	
5		16/矢壁 正弘	一問一答	9～12						
6	9/8(月) 9 時 30 分～	5/石原 忍	一問一答	12～14						
7		4/福間 守	一問一答	14～16						
8	9/8(月) 13 時 00 分～	1/竹部 貴博	一問一答	16～18						
9		12/梶谷 佳平	一問一答	18～20						
10		9/高橋美佐子	一問一答	20～21						

令和7年雲南市議会9月定例会 一般質問通告一覧表

令和7年9月4日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	14	中林 孝 (一問一答)	1. JR 木次線について 2. 健康保険証の変更(移行)について 3. 産業政策について	(1) JR 木次線の利用客の推移を踏まえ木次線利活用推進協議会の役割と実績を伺う。協議会は機能しているか。 (2) 木次線対策をどのように考え、どう進めるか。成果を上げるためには何をするか。 (1) 国民健康保険、後期高齢者医療制度の保険証が廃止され、マイナ保険証、資格確認書に変更(移行)された。移行状況及び移行にあたり問題は生じなかったか。 (2) 今後、協会けんぽ等の保険証の廃止(移行)やマイナ保険証機能付きスマホの利用も予定されている。移行スケジュールと移行後の全体像を伺う。 (3) マイナ保険証には有効期限が2か所ある。違いについて伺う。 (4) マイナ保険証の電子証明書の期限に記載が無いが大丈夫か、有効期限はどうすれば確認できるか。期限切れを使用した場合、支障があるか、救済措置はあるか。 (5) 健康保険証の制度移行は年配者には分かりにくい。市民への周知は十分か。 (1) 最低賃金が千円を超える。労働者にとって喜ばしい反面、経営者にとっては切迫かつ切実な問題だ。働き方改革なども併せ企業の負担は大きくなる一方だが対策はあるか。 (2) 神原企業団地造成の動きが遅く、企業誘致も進まない。産業振興をどうする考えか。 (3) 中心市街地活性化事業の進展も遅い。総括と今後の展開を伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. ごみ処理施設整備に係る基本構想について 5. 財政について	(1) ごみ処理施設整備の計画を見直さなければならなくなった理由、経緯、今後の予定を伺う。 (2) 見直しにあたり 2 町(奥出雲町、飯南町)とは連携が取れているか。2 町と締結した基本合意書の取り扱いはどうなるか。 (3) 計画見直しにより様々な混乱が生じ市民の不安や不満が増嵩している。どうする考えか。 (4) ごみ処理施設は市民生活を支える基本的かつ最重要な公共インフラと考える。ごみ処理施設に対する行政の役割、重要性について所見を伺う。 (1) ふるさと納税の推移(件数及び額)を伺う。業務委託先を変更したが効果はあったか。今後ふるさと納税をどう進めるか。 (2) 有価証券の運用状況(一般会計、企業会計とも)について伺う。なぜ、こうした状況になったか。責任は誰がとるか。 (3) 今後、予想される公共事業(事業内容、実施順等)が財政に与える影響、見通しを伺う。	
2	2	原 良太 (一問一答)	1. 本市の財政状況について 2. 観光振興政策について	(1) 率直に本市の財政状況は良いのか、それとも厳しいのか。また、本市の財政運営に課題はあるのか。 (2) 「ふるさと納税」の現在の寄付額は。 (3) 雲南市公共施設等総合管理計画の着実な実施は勿論のこと、実施方針に挙げられていない施設(例えば学校等)についても、本当に今の雲南市が保有すべき施設であるのか、聖域なき見直しが必要な時期に来ていると考えるが、市の見解を伺う。 第3次雲南市総合計画において、令和16年度における観光消費額の目標値が36.5億円と示された。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 農地の各種計画の見直しについて 4. 立地適正化計画の見直しと実施について	(1) この数値目標の内訳など、算出根拠は。 (2) 目標数値が余りにも低いと考える。第3期雲南市観光振興計画において上方修正する考えはないか。 農業振興地域整備計画、及び地域計画の見直しについて伺う。 (1) 両計画ともに、主たる目的は、農地の集約化と生産性の向上としていると解釈するが、相違ないか。 (2) 整備計画について農用地区域の見直しについては必要性を含め検討されているのか。 (3) 地域計画の見直しは前定例会一般質問において市が主導した見直しについては否定的であるものと解釈するが、時代にあった計画はやはり市が主体的に取り組むべきであると考えているが、その見解を今一度伺う。 (1) 居住誘導区域外での分譲宅地開発や、都市機能誘導区域外での誘導施設建設が計画された場合、市はどのように対応されるのか。 (2) 現在指定されている居住誘導区域に、現状課題はあるのか。 (3) 少なくとも現在居住誘導区域に指定された地域に、居住場所としての「住みにくさ」があってはならない。居住誘導区域について下水道接続を計画されている地域については計画を前倒しすることや、区域内で排水管が敷設されていない土地が宅地造成される際の、既存排水管までの伸長接続に関する費用について補助金を創設するなど実効性のある政策が必要であると考えているが、市の見解を伺う。	
3	17	佐藤 隆司 (一問一答)	1. 強みを活かした観光戦略	(1) 本市には、古事記に由来する「日本初の宮の須我神社と和歌発祥の地」、1か所からの出土では日本最多となる39個の銅鐸が発見された「加茂岩倉遺跡」、日本古来の製鉄施設である高殿が日本で唯一	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. インターハイを終え次のステージへ 3. 木次体育館のあ	現存している「菅谷たたら山内」など唯一無二の観光資源がある。 ①中国横断自動車道 尾道松江線(中国やまなみ街道)は、平成 27 年 3 月(2015 年)に全線開通し 10 年となるが市内への観光入込客の推移の傾向と、第 2 期観光振興計画の 5 年後の目標値は。 ②宿泊客数・観光消費額の推移の傾向と、第 2 期観光振興計画の 5 年後の目標値は。 ③主な観光地点別(個別)観光入込客数の推移の傾向は。 ④主な観光地をどのように活かし観光振興につなげるのか。 ⑤菅谷たたら山内の修復は 2023 年 4 月に完成、加茂岩倉遺跡は 1996 年(平成 8 年)10 月 14 日に発見されてから 29 年、2008 年(平成 20 年)7 月に国宝に指定されて 17 年であり、シティプロモーションの絶好のチャンスと考えるが。 (1)広島を主会場に「開け未来の扉 中国総体 2025」が開催され、本市はレスリング競技大会が実施された。準備から大会運営に高校生も加わり、全国からのアスリートを迎え入れ熱気あふれる大会となったと思うが、2030 年「島根かみあり国スポ・全スポ」に向けての課題も見えてきたと考える。 ①大会運営上、競技会場施設や受け入れの体制の評価は。 ②来雲者数と市内経済効果への評価は。 ③大会開催の盛り上がりや賑わいの評価は。 ④5 年後「島根かみあり国スポ・全スポ」は、レスリング競技に加えてソフトボール競技、ローイング競技の会場となるが、開催に向けて準備・おもてなし・気運の醸成にどう取り組むのか。 (1)教育基本計画では「島根かみあり国スポ・全スポ」に向けた取り	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			り方	組みに「幼稚園等、小学校、中学校、高等学校の幼児児童生徒から大人までがスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツをしていく機運を高めます」と示されているが、社会体育施設のあり方が前述の醸成にブレーキをかけることになってはならないと考える。 ①令和5年12月定例会では「木次中学校整備検討委員会で、総合的なまちづくりの視座も持った上で最適な方法を見い出していかなければならない」と答弁されているが、委員会では木次体育館のあり方をどう検討されてきたのか。 ②旧市役所跡地及び周辺の活用は、木次町のまちづくりに大変大きな影響を及ぼす問題である。 平成24年9月定例会では「木次町の2つの体育館は趣を異にしている」また、平成26年9月定例会では「木次体育館は必要である」と本会議で答弁されおり重く受け止めなければならないと思うが見解を伺う。	
4	6	廣野 祐二 (一問一答)	1. 農業における危機管理について	農業における危機管理は、自然災害や病虫害の発生、価格変動など、農業経営に影響を与える様々なリスクに備え被害を最小限に抑えるため対策を講じることとされている。自然災害については、地球温暖化等により、毎年のように繰り返される猛暑、渇水、豪雨による洪水、土砂崩れ等があり、病虫害の発生は、稲作では、カメムシ被害やいもち病、畑作での病虫害等、又、畜産では、高病原性インフルエンザや口蹄疫、豚熱、ランピースキ病等があり、これに加えて、鳥獣被害や、需要と供給のアンバランスによる急激な価格変動が、リスクと考えられる。これらのリスクに備えた対策は、第一義的には、生産者の責任ということになると思われるが、特に農	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				林水産業は、地場産業の育成という観点と食料安全保障の観点等、大変重要なことであり、行政としても深くかかわっていかなければならないと考える。 (1)稲作において、昨年は、猛暑やカメムシ等の発生で、収量低下、一等米比率の低下等により、稲作農家の生産意欲の低下と出荷量の減少が起こり、ひいては、「令和の米騒動」と言われる米価の高騰が起こった。これに対し、市としては、今年度は、どのような対策をし、その効果をどのように見ているか伺う。 (2)農林水産業において、鳥獣害は、引き続き課題となっている。鳥獣害をリスクと考えた場合、リスクをゼロとすることはできないが、被害を最小限にする対策は重要である。「鳥獣被害をなくすことはできない」と考えると、思考停止に陥る。建設業や製造業では、「労働災害ゼロ」を目指している。このように、市民と共に、「鳥獣被害ゼロ」をめざした考え方が重要と考えるが、市としての見解を伺う。併せて、現在のイノシシ、サル、シカ、サギによる被害状況と、その対策について伺う。 (3)畜産業におけるリスクは、やはり家畜伝染病である。昨年も、大田市において高病原性鳥インフルエンザの発生があり、甚大な被害があった。家畜伝染病予防法では、家畜の所有者に、「家畜伝染病の発生予防とまん延防止に対して、第一義的責任を有している」としている一方、市町村は、「国及び都道府県の施策に協力して、家畜の伝染性疾病の発生の予防及びまん延の防止に資する措置を講ずるよう努めなければならない。」としている。市としては、これまでどのような施策を行い、今後どのように考えているか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 最低賃金の上昇 について	島根地方最低賃金審議会で、2025 年度の最低賃金を、現在の 962 円から 71 円上乘せされ、1,033 円とすることが決まった。これは、3%を超える物価高騰の継続と、他県への人材の流出懸念が背景にあるといわれている。政府は、2030 年までに全国平均を 1,500 円とする目標を掲げており、中小零細企業の多い雲南市の経営者にとって、危機的な状況となっている。物価が上昇している状況では、労働者の賃金は上昇していかなければならない。しかし、それを支払う事業者は、同じ人数の労働者であれば、賃金の上昇分も含めて、まかなえるだけの売上を確保しなければならない。すなわち、取引価格の適正化である。一方、同じ売上高であれば、人数を減らして、賃金の上昇分をカバーするという方法がある。すなわち、労働生産性の向上である。この、取引価格の適正化と労働生産性の向上のどちらか、又は、その両方を雲南市の中小零細企業ができるよう、行政の緊急的な支援が必要である。 (1) これまで、いくつかの支援策が行われていると思われるが、その成果が出ているか伺う。 (2) 今後継続的に、数年間は、最低賃金が増加することが想定される。緊急的な支援、中期的な支援、寄り添った支援が必要と思うが、市の見解を伺う。	
			3. 学校の在り方について	人口減少、少子高齢化が叫ばれて久しくなる。市としても、地域を守るために、子育て支援、交流人口、関係人口の増加施策、I ターン・U ターン増加への施策等様々なことを行っている。しかし、現実的には、確実に少子化が進む中で、その子ども達がどのような教育環境で育っていくかが重要である。今いる子ども達、そして、将来	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 次期一般廃棄物 処理について	生まれてくる子ども達は、地域の宝であり、日本の宝、ひいては、世界の宝といえると思う。その宝である子ども達を育てるのは、地域の教育である。そういう面で考えると、地域での教育の在り方は、将来の世界を左右するといっても過言ではないといえる。この、金銭面ではない、教育の質の魅力化が、雲南市の魅力化になり結果として、地についた人口政策になるのではないかと思う。 (1)市長は、学校の在り方について、「地域の拠点」「少人数指導の利点」「学校があることによる交付税のメリット」等を述べられ、積極的に統合することを否定しておられるように思う。しかし、将来の世界を担っていく子ども達を育てる教育のありかた、子ども達の無限の可能性を引き出す教育は、やはり、ある程度以上の集団での教育が必要であると考えるが、市長の見解を伺う。 (2)「日登教育」を進められた木次町の加藤歓一郎先生がおられた時の生徒の学力は、県内はもちろん、全国水準を超えていたといわれている。最近の雲南市の全国学力テストの結果は、どうであったか伺う。又、課題は何があったか伺う。 (3)現在、木次中学校の改築が計画されているが、教育設備には、ぜいたくな設備は必要ないと思う。知育・徳育・体育の概念を基本に、その力を十分に発揮できる設備が必要と考える。特に設備面において、将来の学校の魅力化と、現在の学校の魅力化をどのように考えておられるか伺う。 一般廃棄物の処理は、市民の「生活環境の保全と公衆衛生の向上」を目的に、市が責任をもって処理しなければならないとされている。しかし、市長は、本年5月の市議会全員協議会において、平成30年	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				に必要性を言及されて以降 6 年間にわたって策定されてきた次期一般廃棄物処理施設整備構想を、財政上の理由から再検討することを表明された。この再検討の中には、処理業務の委託が含まれている。 (1) 先日の報道で、京都大学のチームが、全国 34 か所の下水汚泥を分析したところ、すべての処理場から有機フッ素化合物(PFAS)が検出され、全国的に広がっているのではないかとのことであった。現在、国は下水汚泥の肥料化への推進を図っているが、もし、この PFAS が雲南市においても検出されることがあれば、肥料化を断念し、1100℃以上で焼却することになると思われる。このことについて、下水汚泥の処理の現状と PFAS に関する所見、又、PFAS が検出された場合の対応をどのように考えておられるか伺う。 (2) 今後、頻発するかもしれない、自然災害等により発生する災害ごみについては、現在はどうのような対応をされており、今後はどのように検討されているか伺う。 (3) 一般廃棄物の処理を他人に委託させる場合、その最終処分が終了するまで適正な処理を市の責任において確保しなければならないとされているが、この件については、検討されているか伺う。 (4) 島根県内には、雲南地域の一般廃棄物を処理できる事業所は限られており、もし、この事業所が、火災、地震・津波、その他自然災害、不祥事等による業務停止、倒産等が起こった場合の対応をどのように考えておられるか伺う。	
5	16	矢壁 正弘 (一問一答)	1. 農業振興について	(1) 渇水(水不足)対策について ①今年の夏は梅雨明けが早く、降雨量が少なく各地で水不足が発生した。農作物への被害状況は。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 交通安全について	②本市は、農地有効利用支援整備事業を実施しポンプの使用等の支援を行ったが、もう少し早い段階での支援はできなかったのか。 (2) スマート農業について ①市長は、スマート農業を推進していくとされた。3 月定例会での答弁では、まずは水管理等の身近なところから取り組むとされたが現状は。 ②産業建設常任委員会で、新潟県上越市のスマート農業を視察した。2～4 ヘクタールに整備された圃場での取り組みだった。本市では真似ができないが、中山間地域に合ったスマート農業もあるので、プロジェクトチーム等を発足させ推進を図る考えはないか。 ③本市では、園芸振興品目として 9 品目の農作物を推奨しているが栽培の現状は。 ④園芸振興 9 品目についての 6 次産業化の状況は。 ⑤園芸振興 9 品目でのスマート農業化の状況は。 ⑥雲南市は、本市ならではの特産物に乏しい。1～6 次産業まで通して商品化できる特産物を考えるべきでは。 (1) 道路交通法改正に伴う自転車の運転について ①小中学校の児童・生徒への指導は十分か。 ②登下校時の事故に対する連絡方法等の対策は徹底されているのか。 ③自転車と歩行者との接触でケガを負わせた場合、高額な賠償を求められることもある。自転車保険への加入が義務化されている自治体もあるが本市の取り組みは。 ④本市では、国道 54 号線沿いの活性化を図るため、サイクリングロ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. スポーツ振興について	ード(やまなみ街道)を設置しているが、法改正による影響はないのか。 (2) 高速道路への誤進入について ① 逆走・誤進入が発生しやすい場所として、本市にある 2 か所のインターチェンジが対象に挙げた。逆走・誤進入防止の追加施設や路面標示等の安全対策は執られるのか。 (1) 国スポ対応について ① 全国高校総体(インターハイ)レスリング競技大会が開催された。2030 年の国スポ開催に向けた課題は見えただか。 ② 駐車場に関する課題があると感じたが対応策は。 (2) 部活動の地域展開(移行)について ① 本市は、令和 4 年度から国のモデル事業を受け、部活動の地域展開に向けた検討を進められた。他地域に先駆けての取り組みだったが問題点はどこにあったか。 ② 地域展開に携わる指導者からは、教育委員会はもう少し現場の声を聴いてほしいとの声がある。連携は密にしているのか。 ③ 今後のスケジュールで、令和 9 年度から平日の活動も地域クラブ活動へ展開するとあるが、指導者の確保等多くの課題があると感じるが見解を伺う。	
			4. 給食センターについて	(1) 大東・加茂学校給食センターは開設から 20 年が経過している。調理器具類の計画的な更新が必要と考えるが見解を伺う。 (2) 大東・加茂学校給食センターが現在提供している食数は 1,500 食程度で、大東給食センターの最大能力 1,600 食を下回っている。本市全体の子どもの数が減少する中、2 つの給食センターの集約・統	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				合の考えはないか見解を伺う。	
6	5	石原 忍 (一問一答)	1. 介護・障がい福祉事業所の維持・充実について	介護・障がい福祉事業所は物価高騰や人件費の上昇などにより、従来以上に厳しい経営を余儀なくされている。特に訪問介護事業者については、2024 年の基本報酬引き下げ等によって経営が逼迫し、東京商工リサーチの調査によれば、2025 年上半期(1-6 月)の倒産が 45 件と過去最多を更新している。介護・障がい福祉従事者の賃金は全産業平均と比べていまだに月額約 8.3 万円も低い状況にあり、人手不足を解消するため、全産業平均の水準に向けて着実に処遇改善を進めなければならない。政府は 2024 年度の介護報酬改定で 2024 年度に 2.5%、2025 年度に 2.0%のベースアップ につながるよう加算率の引き上げ等を行ったとしているが、他産業の賃上げ率を考えれば、政府の処遇改善策では全く不十分である。このままの処遇では、介護・障がい福祉分野からの更なる人材の流出は避けられないと考える。介護・障がい福祉のサービス提供体制の崩壊を防ぎ、誰もが必要な時に必要なサービスを受けることができるよう、国・県に対して次の 4 点について強く要請すべきと考える。また、併せて雲南市としても独自の施策も講ずるべきであり、それぞれの点について市長の見解を伺う。 (1)介護報酬等については 3 年ごとの改定であり 2026 年度は改定年ではないが、次年度に向けて介護報酬、障害福祉サービス等報酬の期中改定を行い、介護・障がい福祉従事者の処遇改善及び、介護・障がい福祉事業所の経営の安定を図るため、それぞれの報酬を引き上げるよう求めるべきと考えるが、見解を伺う。 (2)現状の処遇改善の上乗せを図るため、介護・障がい福祉事業所で	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 公共施設等総合 管理計画について	働く全ての職員に対し、現状より月額 1 万円(年額 12 万円)以上の処遇改善を図るため、国・県・市で実効性ある施策を講ずるべきと考えるが、見解を伺う。 (3)物価高騰に加え、今年度の最低賃金額改定の目安が過去最高額となったことを踏まえ、介護・障がい福祉事業所が最低賃金の引き上げ等に対応できるよう国が直接的な支援をすべきと考えるが、見解を伺う。 (4)基本報酬が引き下げられ、深刻な影響が生じている訪問介護については、速やかに事業者に訪問介護事業支援金を支給するとともに、2026 年 4 月の期中改定で基本報酬を引き上げるべきと考えるが、見解を伺う。 雲南市公共施設等総合管理計画については、平成 28 年 3 月に策定され、この計画を踏まえて平成 30 年 3 月に実施方針(第 1 次)、令和 5 年 3 月に実施方針(第 2 次)が策定され約 10 年取り組まれてきた。この取り組みを踏まえて今回、令和 8 年度以降の新たな展開に向け、総合管理計画の改定及び、実施方針(第 3 次)の策定を行うということであるが、その改定に当たってこれまでの実績に対する評価や、改定の基本的な考え方等について伺う。 (1)これまでの見直し方針に対する実績(廃止・譲渡・集約化・複合化・転用・更新)の評価は。 (2)総合管理計画の主な見直し項目等は。 (3)実施方針(第 3 次)の基本方針は。 (4)実施方針の位置付けは。	
			3. 雲南市立図書館	(1)雲南市には市立図書館が 3 施設(木次図書館、大東図書館、加茂	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			職員の処遇について	図書館)あるが、この市立図書館の運営はキラキラ雲南に業務委託されており、市立図書館の職員はキラキラ雲南の職員である。その市立図書館の職員の処遇については、キラキラ雲南で働く職員の中でも低く位置付けられており、給料表も別に設定され、相当低い賃金体系となっている。この実態について、市長は把握しておられるか。また、把握しておられとすればどのように考えられるか見解を伺う。 (2)現在、物価高騰により厳しい生活が強いられている状況の中で、民間の春闘においても、国家公務員に対する人事院勧告においても一定のベースアップが図られている。この状況も踏まえれば、当然に図書館職員の処遇改善は早急に図るべきである。処遇改善には、まずは差別的な給料表を廃止し給料表を一本化することが必要である。その為には、市として受託業者に対し改善を求めるとともに、処遇改善に必要となる人件費相当額を委託料に上乗せするなど、市立図書館の開設者として責任ある対応をすべきと考えるが、市長の見解を伺う。	
7	4	福間 守 (一問一答)	1. 田んぼのひび割れについて	梅雨明けが早く水不足となった。渇水対策も行われたが、水が確保できず田んぼがひび割れるなどした。お盆前にまとまった雨が降り、水がたまると思ったが、ひび割れがひどく、水が漏れだす田んぼが見られた。米の収穫に大きな痛手となった。水をためることができないとなれば、今後の耕作に影響を及ぼす。水不足の被害の状況等を伺う。 (1)どのような被害が報告されているか。 (2)調査はされたか、あるいは今後されるか。 (3)どのような対策を講じるか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 道路のつる草の 対策について	道路につる草が這い出す、ガードレールや電柱に登るなどしている。景観を損なうだけでなく、視認性を阻害したり、標識を隠したりして、通行、安全に支障をきたすところもある。対策等を伺う。 (1) どのようにとらえているか。 (2) 点検等はされているか。 (3) 除草等の対応ができるか。	
			3. 行財政改革の推 進について	(1) 事業の見直し 3 月定例会の一般質問において事業の見直しについて、「新年度に入ったらすぐに事業を一つ一つ点検する」と答弁された。事業見直しの状況等を伺う。 ①進捗状況は。 ②今後のスケジュールは。 ③事業見直しの方針や目標は。 ④事業の縮小や廃止が進むか。 (2) 財政の収支不足解消 3 月定例会で「収支不足の解消、財政調整基金や減債基金の取り崩しがない状態をめざす。300 億円を超える予算規模は雲南市の体力から維持は困難」と答弁された。人口が減少する中、新たな施設整備が進められている。公共施設の維持管理費もかさむ状況で、施設の集約など必要と考える。見解を伺う。 ①学校を統合しないか。 ②「統合してほしい」という意見をどうとらえているか。 ③類似した公共施設の統廃合も必要ではないか。 ④既存の施設の維持管理や新しい施設整備をどのように進めるの	

[illegible]

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 最低賃金引き上げに伴う事業者支援について 4. 島根かみあり国民スポーツ大会に係る進捗について	する考えはあるか市長の見解を伺う。 (2) ペット同行避難への対応を踏まえた機能強化について、市長の見解を伺う。 本年 8 月 18 日島根地方最低賃金審議会は、最低賃金を 71 円引き上げ、時間額 1,033 円とすることが適当との答申を行った。 この賃上げは、労働者の生活安定と地域経済の持続的発展につながる一方、中小・小規模事業者にとってはコスト負担の増加となる懸念もある。 (1) 最低賃金引き上げにより影響を受ける市内中小・小規模事業者の実情把握と、その支援に向けた調査・分析の予定はあるか伺う。 (2) 価格転嫁(製品・サービスの価格への反映)を支援するため、県の「適切な価格転嫁と持続的な賃上げによる地域経済発展の実現共同宣言」などの機運を市としてどのように具体化していくか伺う。 2030 年に開催される国スポにおいて、レスリング、ソフトボール及びローイング競技は雲南市が会場となる。レスリングでは、本年 7 月にインターハイが雲南市で開催され、ソフトボールでは、本年 8 月 22 日に日本女子ソフトボールリーグに参加するクラブチームの本拠地移転により雲南市に拠点を置くことが発表されるなど、スポーツ振興への期待が高まっている。今後、役員の確保をはじめ運営上の課題の把握と競技者への支援など、より具体的な施策が求められる。 (1) レスリング競技について、インターハイの運営を通じて得られた成果や国スポに活用できる点、また今後の課題をどのように捉えているか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				(2) 女子ソフトボールクラブチームの移転を契機に同チーム及び市内で活躍する競技者に対する支援について伺う。 (3) ローイング競技における競技団体及び奥出雲町との連携状況、運営計画について伺う。 (4) 大会運営において、役員確保が大きな課題となっている現状をどのように対応していくのか、今後のスケジューリング等の計画と併せて伺う。	
9	12	梶谷 佳平 (一問一答)	1. 産業振興について	厚生労働省の中央最低賃金審議会で、2025 年度の最低賃金引き上げ額の目安を全国平均 63 円に引き上げることで決着した。それを受けて各都道府県単位の最低賃金は、地方審議会が地元の改定額を議論し 8 月頃月上旬から順次決まり、秋から適用される。新聞発表によると、島根県の引上げ目安額は 63 円ではなく 71 円となり、時間給は 962 円が 1,033 円となった。 (1) 雲南市内の事業者に対し、人件費上昇に伴う支援策を伺う。 (2) 雲南市内事業者からの物品調達促進について伺う。 (3) 官公需における人件費転嫁について伺う。 (4) 森林環境譲与税の有効活用について伺う。 雲南市は土地面積 55,318ha のうち 43,528ha(約 80%)が森林とされ、豊富な資源がある。人件費上昇に伴い、森林管理者は厳しい状況となる可能性がある。森林の有効利用を継続するための支援策は何か。 (5) 森林資源を有効に活用するため、木材に関係する市内業者の付加価値向上支援とか原価低減支援が必要ではないか伺う。 (6) 市産材の有効利用を行うため市民への支援について伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 学校教育について	市産材を一定数量以上使用して建築した住宅や民間施設に対する補助、市産材を利用した日用品等への取り組み額を増額する考えについて伺う。 (7) 広葉樹活用支援事業の取り組みについて伺う。 森林には、針葉樹だけでなく広葉樹も多い。この広葉樹を活用した支援事業は何か伺う。 (8) 人件費高騰の中、農業者への支援策はあるのか伺う。 (1) GIGA スクールについて伺う。 雲南市では令和 3 年度にウィンドウズ 10 のタブレットが導入された。 ① 端末のスペック評価について(教職員や保護者・子どもから)伺う。 ② 当初、教員用・児童生徒用を何台購入し、故障等で何台更新したのか。 ③ 自宅にインターネット環境がない児童・生徒への対応はどうしているのか。 ④ 更新年度とその予定スペックについて伺う。 (2) 理科離れ防止対策について伺う。 理科離れを防止するためには、学校や家庭での取り組みが必要とされている。文部科学省は、教育現場では、実験や観察を重視し、科学館などの外部資源も活用しながら、理科が好きな子どもを増やす活動が推進されると言っている。 ① ポテカ(デジタル百葉箱)の導入目的と使用料金、教育機関での活用状況について伺う。 ② 理科離れ防止のため、出雲科学館・鉄の歴史博物館・ゴビウスな	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. クマ対策について	どの外部資源の活用はあるのか伺う。 (1)9 月 1 日から改正鳥獣保護管理法が施行されたことについて伺う。 6 月定例会の一般質問で、住宅集合地での緊急銃猟が実施できる駆除員は、政令で定める要件を備えた人に限り実施できることとなっているとの回答であった。 ①政令で定める要件とは何か。雲南市猟友会に、その要件を備えた人は何名いるのか。 ②人との遭遇防止対策について 人と有害鳥獣が遭遇することを避けるため、人との住み分けが必要ではないか。 ※住み分けとは、人が住む所、緩衝地帯、緩衝地帯の外側(有害鳥獣が活動する所)に区別すること。	
10	9	高橋 美佐子 (一問一答)	1. 教職員等による児童生徒の盗撮防止対策について 2. 緊急告知放送について 3. 丸子山公園の遊具修理について	(1)全国的に教職員等による盗撮事案が発生しているが、雲南市ではそのような事案は発生していないか伺う。 (2)教職員への指導・教育や盗撮防止対策はどのようにしているか伺う。 (1)緊急時の告知放送が屋外スピーカーと各家庭の個別受信機から同時に流れ、何を言っているのかわからないと言う声を聞くが、市当局へそのような声はないか伺う。 (2)少し時間差をもって放送する等の対応はできないか伺う。 (1)丸子山公園は各種スポーツを楽しむ人や家族連れなど多くの人利用しているが、そのメインの遊具には使用禁止と表示されロープが張られている。早急に修理することが一番であるが、子どもが	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				入ると危険なので、修理ができるまで誤って入らないような対策ができないか伺う。	
11	10	多賀 法華 (一問一答)	1. 図書館について	(1) 今年の5月、慶應義塾大学・京都大学の研究で図書館や図書館の蔵書数が多い自治体ほど、その自治体の要介護高齢者が少ないことが報道発表された。平成25年をベースに要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者7万3138人を対象に令和3年3月まで追跡調査をされ、各自治体の図書館の蔵書数と要介護リスクの関連を検証、その結果、図書館の蔵書数が人口当たり1冊増える(千人の町なら千冊)と、その地域の高齢者の要介護リスクが4%減少することに相当する相関関係が確認された。同様に10冊増えると約34%減少、さらに街に図書館が1館増えると、要介護者が約48%減少することが確認された。こうした相関関係が示された背景として、図書館が文化活動に参加することを可能にする地域の文化資本であることや、知的な刺激を受ける機会を提供していること、さらに高齢者の方が図書館に出かけることで身体活動も促進している点などがあげられた。また、図書館は無料で利用できることも大きいということだった。こうした結果をふまえ、あらためて、図書館の存在を検証すべきと思うが、市としては、図書館の価値をどのようにとらえておられるか伺う。 (2) 現場からは、決められた予算内では、本が古くなっても入れ替えができないという声があがっている。図書館には様々な役割が課せられているが、図書があることが一番の柱と思うが、図書整備についての予算は適切か伺う。 (3) 図書館では、読み語り、ストーリーテリングの会など様々なイベ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				ントも開催されている。イベントやボランティアの打ち合わせ、職員研修などで、木次図書館の視聴覚室を使われることが多いと聞けるが、図書館の閲覧室のエアコンが壊れ、視聴覚室のエアコンと切り替えて使っているため、視聴覚室が夏場、冬場に使用できないとのことだった。使っておられた市民の方からも苦情があがっている。また、加茂図書館もエアコンが壊れたと聞いた。空調の修繕のめどはあるか、対策について伺う。 (4) 来館者の利便性向上を目的に、Wi-Fi のサービスを行っている図書館もある。大東図書館は無料で Wi-Fi を利用することができるようだ。GIGA スクールで 1 人 1 台タブレットの時代、どの図書館でも同じように Wi-Fi 環境を整える必要があると思うがいかがか。 (5) 図書館の大切な業務の 1 つにレファレンスに関する業務がある。レファレンスとは、利用者の問い合わせに応じて、図書の照会や検索をする業務。郷土資料の質問もよくあるようで、何日もかけて所蔵や資料の調査をする業務を、多いときには日々 3 件程度かかえておられるとのことだった。合併前の資料があまり残っていないようで、情報を残しておかないとすでに昭和終りから平成の始めの資料が少なく、分からなくなっているとのこと。いずれ歴史になる資料となり、学校の授業でもいかせる。市として、情報収集し、各町でつくられた町史などをまとめ、昭和終りから平成の衣食住を盛り込んだ雲南市史を作成されてはと思うがいかがか。 (6) コロナ禍や読書バリアフリー法の制定、ICT 技術の進歩など、図書館の DX 化がすすんでいる。AI での蔵書管理、書架点検、オーディオブックサービス連携、セルフ貸出機、利用者カードのデジタル	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				化など様々な DX 化があると思う。雲南市内での図書館の DX 化についての状況、また今後の展開について伺う。 (7)必要な DX 化はすべきだが、紙の本の価値について見直されている。スマートフォンやタブレットでは、検索で自分の見たいもの、同じ価値観のものばかりを見てしまうというデメリットがある。図書館は、自分が調べたいもの以外で気になる本のタイトル、色、形、ふと目にはいる存在感など偶然の出会いがある。また、図書館は、地域のしがらみなく、いつ誰が来ても詮索されることなく、無料で無記名で使える。最初に述べた図書館の数や蔵書数と要介護リスクの相関関係などもふまえ、今後の図書館について市としてどうして行く予定か。建物も古くなった施設もある。市内 3 つの図書室と 3 つの図書館について、ハード面・ソフト面について伺う。 (8)市政への提案箱で、令和 5 年度に移動図書館の開設についてご提案があった。「子どもたちにもっと本に触れて欲しいです。雲南市内は広いにも関わらず、図書館は大東・加茂・木次にしかありません。私の勤務する場所の近くは学校も廃校になり、図書館がありませんし、子どもだけで図書館に行くことはできません。移動図書館などで定期的に市内を回って、子どもたちに本と触れ合う機会を設けることはできませんでしょうか？子どもだけではなく、大人も本と触れ合い、自分を見つめる機会を持つことやその姿を子どもに見せることが大事だと思います。「飛び出す図書館」お願いしたいです」との提案。市の回答として、「ご提案いただきました件につきましては、東日本大震災をきっかけに移動図書館車等の移動図書サービスが再評価されてきていると認識しております。雲南市におきましては、	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				移動図書館車は持っておりませんが、より身近な場所で臨時的に図書に触れる機会を作るため、事前に登録いただいた団体（地域自主組織や社会福祉団体のほか任意のグループでの登録も可能です。）に図書をまとめて貸出すサービスも実施しておりますので、こうしたサービスを活用した出張ライブラリーの開催についても、ご検討いただければと思っております。また、主にこども園等に出向いての読み語りも実施しております。今後ともご提案ご要望等ございましたら教育委員会、図書館等にお伝えいただければ一緒に検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。」と、あった。現在も出向いての出張図書館のような活動はされていると思うが、図書館に公用車がないと聞いている。今後移動図書館の検討やこのような活動を継続していくためにも公用車は必要かと思うが、いかがか。 (9)図書館業務を担う人材が大切であると考え。島根県内で図書館の運営は直営、委託とあるが、雲南市は委託。委託期間は3年間。ノウハウがない事業所が選ばれば、図書館の機能が十分にいかしきれない可能性がある。令和7年5月2日に、大阪市立図書館で、中央図書館窓口等委託事業者の交代に伴う業務の停滞についてお知らせがあった。受託業者が交代したことで、予約された図書等がなかなか渡せられない、返却された図書を所定の位置に戻せないなどの状況が起こった。蔵書の知識や職員の経験の蓄積、地域のことも知っている人材でなければ、図書館の機能はいかしくれない。現在の委託の職員配置体制は適切か、状況を伺う。	
12	13	上代 和美	1. 国保問題について	(1)物価高騰が長引く中、国保料が昨年の7%値上げに続き、今年も	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 多文化共生社会 実現のまちをめざ して	(2) ケアマネ人材確保について ①全国各地でケアマネ不足により居宅介護支援事業所が廃止休止に追い込まれている。雲南市においても令和5年に13事業所であったのが令和7年度には11事業所に減っている。現場からは少なくなったため遠くまで訪問しなければならないケースが増え、とても大変になっている。また、家族がいない、遠方に住んでいるなどの利用者の家族背景もあり、ケアマネ本来の業務以外の支援が必要になってきており、負担が増してきていると現場の声を聞いている。市はこの現状をどう把握しているか伺う。 ②事業運営の安定化のためには、特定事業所加算の有利なものがとれるかであるが、ケアマネの確保や算定要件を満たすための業務負担が大きく、加算取得のハードルが高くなっている状況である。事業運営安定化のために、訪問介護と同様に訪問におけるガソリン代の支援をすべきである。見解を伺う。 ③令和8年度は、第10期介護保険事業計画策定となるが、10期にむけてのケアマネの確保は大丈夫か。また、9期計画では雲南市は推計で令和22年に認定率が23.5%(令和8年の推計で19.2%)でピークを迎えるがケアマネの人材育成・確保は大丈夫か。見解を伺う。 ④介護現場の状況把握や連携、また人員確保のためにも、市がイニシアチブをとって事業所管理者、包括など関係者との情報交換が必要ではないのか。見解を伺う。 (1)先に行われた参議院選挙で、「日本人ファースト」や排外主義を前面に掲げた政党が議席を伸ばした。こういった言説は市がこれから取り組もうとする第3次雲南市総合計画の「みんながみんなを大	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				切にするまち」とりわけ、「多文化共生プランに基づき、外国人が安心して生活できる環境づくり」と相反することではないか。 市には 200 人を超える外国人の方が居住している。これらの言説について、また、安心して暮らせるまちづくりについて市長の見解を伺う。	
13	11	安田 栄太 (一問一答)	1. 大東高校の寄宿舍について 2. 災害時の対応自動販売機の設置について 3. 社会体育施設について	本市で整備した大東高校の寄宿舍は、現在、11 名が利用しており残り 5 名の入居枠があるが、利用している生徒は全て 1 年生であるため、来年度以降の受け入れにあたり部屋数が不足することが見込まれる。早急な対応が必要と考える。 (1) グランデ大東 95 を寄宿舍専用棟にすることを検討されているが、現入居者の移転依頼について応じて頂ける状況か。 (2) 1 部屋に 3 名の相部屋にする予定だが、今後、個室にする予定はないか。 (3) 女子生徒の受け入れ環境も含め、住環境の拡充は今後どうするのか。 自然災害等が発生した場合に、停電時でも飲料を確保することができる災害支援自動販売機が本市内に設置してある。 (1) 本市内に何台設置してあるか。 (2) 設置場所の基準は何か。 (3) 災害時に孤立する可能性が高い地域に設置する必要があると考えるが、今後、拡充する考えはあるか。 (1) 大東体育文化センターの解体に伴い、代替えとして大東公園体育館の増設、機能拡充について検討をされているが、いつ方針決定するのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 市内経済について	(2) 木次体育館でフットサルの活動をする団体がある。木次中学校の建て替えに併せて集約されることになれば活動が出来なくなるのではないかと心配されている。木次体育館の整備方針の検討の中で、これまでの利用者が活動を制限される可能性について十分検討されているのか見解を伺う。 島根県の最低賃金は過去最高の前年比 71 円引き上げられた。物価高騰の影響もあり、市内事業者にとって非常に厳しい状況だ。 (1) 市内事業者への影響は。 (2) 支援策はあるか。 (3) 賃上げの恩恵を受ける消費者への消費喚起の考えはあるか。	
14	15	中村 辰眞 (一問一答)	1. 部活動等における熱中症対策について	今年の夏は、猛暑ではなく熱波と言っても過言ではないような状況であった。 全国高等学校総合体育大会のレスリング競技が本市アスパルで開催された 7 月 27 日から 30 日にかけても極暑となり、運営サイドにおいてはかなりの気配りが必要だったと推察する。 出場選手に至っては、その大会に至るまでも猛暑の中で猛練習を行ってきたことと思う。 そこで、部活動における熱中症対策について伺う。 (1) 文部科学省は、令和 6 年 4 月 30 日付で、学校教育活動等における熱中症事故の防止について(依頼)を発出している。その中には、活動の場所や種類にかかわらず暑さ指数(湿球黒球温度)に基づいて活動実施を判断することとあるが、暑さ指数を測定し記録する装置が各学校にあるのか伺う。 (2) 指導者の感覚だけで、子ども達に無理な練習をさせていないか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 戦後 80 年関連 事項について	教育委員会の認識を伺う。 (3)運動部の中には、炎天下でグラウンドを数周走らせることがあると聞くが、この行為についての是非について所感を伺う。 先の大戦から 80 年が経過した本年、マスコミを含め多方面で歴史的な意味を問う動きが見て取れた。特に特筆すべきは、7 月に行われた参議院選挙における一部の候補者等から発せられた言葉に一考させられた方が多かったのではないかと感じている。 (1)核保有の考え方について 先に行われた参議院選挙で当選したある方は「核武装が最も安上がりであり最も安全を強化する策の一つ」と述べた。これに対し 8 月 6 日の湯崎広島県知事はそのスピーチの中で論破された。石破総理は広島での式典で式典会場近くに立つ「原爆犠牲国民学校教師と子どももの碑」に刻まれた歌人、正田篠枝さんの歌を、長崎の式典では永井隆博士の著書「長崎の鐘」の「ねがわくば、この浦上をして世界最後の原子野たらしめたまえ」とその思いを語られたと感じている。 ①石破総理及び湯崎広島県知事のスピーチについての所感を伺う。 ②永井博士ゆかりの地であり「平和を」の都市宣言をしている自治体のトップとして、核武装論に対する所感を伺う。 (2)平和教育について 永井隆記念館の果たす役割のひとつに「平和教育の発信拠点」がある。 ①コロナ渦においては、県内の小学校などから平和学習目的とした来館者が多かった。現在の来館者数とコロナ渦の来館者数がどのように変化しているのか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. JR 木次線について	②永井隆記念館には、昭和 45 年に長崎の永井記念館と三刀屋町の永井記念館との間で姉妹館であることを当時の長崎市長と三刀屋町長の連名で発せられた「宣言」がかかげてある。 この宣言の想いを発展させ、長崎市長と雲南市長とのあいだで再度姉妹館の宣言書を交わすことはできないか見解を伺う。 (3) 平和教育のアイテムについて 広島市では、デジタル技術で原爆投下直前から復興していくまでの歴史を 3D 映像で見ることができる学習アプリが使用されている。実際に体感したがかなりの衝撃をもって見ることができた。 広島市の教育委員会が管理し、申し込みをすれば県外であっても貸し出しが可能とのことだった。これを活用し本市の平和教育に使用できないか見解を伺う。 8 月 6 日 JR 西日本は、2024 年度の区間別平均通過人員(輸送密度)を発表した。 (1) 芸備線・東条―備後落合間が 19 人/日でワースト 1 位。木次線・備後落合一出雲横田間が 23 人/日でワースト 2 位となっている。いずれの区間も木次線存続の観点から見れば重要な区間である。木次線全線では昨年度と比較して 43 人の減少している。トロッコ列車の廃止が大きな要因の一つとみている。一方、観光列車「あめつち」の運行開始などによる魅力創出など集客の大きな武器となりうると考えていた。このような状況下で木次線に対し本市は何をどのように取り組むべきか見解を伺う。 (2) 先日、出雲養護学校雲南分教室の先生と木次線談義をした。先生曰く、木次線が仮になくなればこの学校の存在意義もなくなるので	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 公営住宅について	はないかとの見解をきいた。あくまでも私見での語らいの中であるので、公式な見解ではない。木次線を利用する生徒の通学手段がなくなれば、寄宿舍のある出雲や松江の本校へ進路が移るのではないか。木次線があるからこそ自宅から通学できるメリットがある。木次線にたよる方々が少なからず存在していることを踏まえ、市長には奥出雲町や島根県、国土交通省さらには JR 西日本へと積極的かつ大胆な交渉を期待するが見解を伺う。 所用で公営住宅を訪問することがある。特に高齢者の割合が多くなっている感は否めない。 (1) インターホンが機能していないお宅があるが、市が交換するのか、居住者が交換するのか見解を伺う。 (2) 交換にあたっては、モニター付きであれば住人の安全・安心の確保につながると考えるが見解を伺う。	